

子どもたちの確かな人権感覚

小・中学生の人権標語から

教育委員会では、町内の小中学生から人権標語を募集しました。心に響くたくさんの応募の中から、いじめや差別を見抜く感性、いじめや差別をなくそうとする強い意志、他を思いやる優しさ、人権問題を自分のこととして受け止める人権感覚、心がつながり合う社会をつくりあげていこうとする意欲などに満ちている作品を優秀作品として選びました。一つ一つの作品をじっくり読んで、子どもたちの思いを心で受け止め「大人も子どももみんなが輝く益城町」を実感できるいじめや差別のない明るい社会づくりに努めましょう。

特選

- ・「かてて」「いいよ」いってくれてありがとう (小1)
- ・ありがとう 言葉の薬 かけあおう (小4)
- ・わたし発 みんなに広がり やさしい心 (小6)
- ・「大丈夫？」私を支えた その言葉 (中2)

入選

- ・このほしに うまれたみんな おともだち (小1)
- ・ケンカゼロ みんなでにっこり あそぼうよ (小2)
- ・あいさつは やさしいきもちを つなぐはし (小2)
- ・あいさつで みんなの心が ぽっかぽか (小2)
- ・いいことば みんなにひろげ たいせつに (小3)
- ・ありがとう みんなの心の 合言葉 (小4)
- ・信じるの？ 根も葉もないのに そのウワサ (小5)
- ・みつけよう 一人ぬけてる？ 誰だろう (小6)
- ・大丈夫 私は君の 味方だよ (小6)
- ・相手への 心の温度 何度かな (小6)
- ・いじめみて だれがとめるの？ 自分でしょ (中1)
- ・どうしたの？ その一言に すくわれる (中3)
- ・広めよう いじめの輪じゃなく 友の輪を (中3)
- ・勇気だし 止めれるヒーロー 君しかいない (中3)

※特選は、役場・公民館・文化会館・交流情報センターに展示します。

益城町教育委員会

益城町の事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	発生状況(件)			
	町内		御船署管内	
	11月中	累計	11月中	累計
人身事故	6	110	24	253
物損事故	79	740	183	1883
空き巣	0	11	0	17
自販機狙い	0	0	0	1
万引き	0	3	3	38
オートバイ盗	0	2	0	6
自転車盗	1	4	3	29
車上狙い	0	11	0	40

件数は平成26年11月末現在

問い合わせ先

役場総務課防災係 ☎ 286-3111

御船警察署・御船地区防犯協会連合会

☎ 282-1110 / ☎ 261 ~ 264

いことも二十歳代の特徴です。友人などから投資などの勧誘を受け、断りきれずに契約してしまったりという相談が増えていきます。別の友人を紹介して紹介料を受け取ると、その友人との関係が壊れるだけでなく金銭トラブルにも発展しかねません。友人からの誘いでもきっぱり断る勇気を持ちましょう。

このようなトラブルにあったら早めに消費生活センターに相談しましょう。

(国民生活センター発行「くらしの豆知識より」)

問い合わせ先

役場住民生活課住民係 ☎ 286-3112

(上益城広域消費生活相談室)

②馬水のわが家は、薩軍の宿舎に接取されるとのことなので女性や子供たちは急いで先の避難小屋に逃がし、佐吉さん床の間の掛け軸があまりにも古いので取り替えるためにそれを外した所へ薩軍がドヤドヤと乗り込み、これを見て客が来るのに掛け軸を掛けるべきに外すとは何事かと叱りつけられ、取り替えるつもりであったと陳弁これを努め、ようやく機嫌が直りやと許されたという。一家はこの小屋で暮らしたが、母屋は薩軍の宿舎に取られ土蔵は弾薬庫にされたという。

③灰塚村の竹山の避難小屋と銃弾の跳弾(灰塚の杉原平治氏談)

ここには鬱蒼とした竹山があり、薩軍駐屯の報に村人はこの中に避難小屋を建てて避難した。やがて政府軍の木山攻撃が始まると、双方の激しい銃撃戦で銃弾が飛び交い、弾が竹山に飛び込むと孟宗竹の膚はツルツル滑るので竹に当たって跳弾となり、カンカンガンガンと騒音を立てて飛び回り、筵掛けの小屋では何の防御にもならず全員蒲団を被って震えていたという。

益城町文化財を訪ねる会
会長 松野國策